



大井川茶園創業20周年 新ステージへ



一貫生産方式と物流機能を有する業界初の「バーチカルインテグレーション工場」

会社概要

事業所：本社・営業本部・生産工場
住所：静岡県焼津市上新田685-1 従業員数：47人（男性21人、女性26人）
事業内容：日本茶・ティーバック・缶詰・ギフトの製造販売、烏龍茶・健康茶の販売
関連法人：株式会社大井川茶園流通経済研究所、株式会社松田屋商店、NPO法人茶食育をすすめる会、一般社団法人ジャパン・フードバンク・リンク、SDGsビジネス総合研究所

沿革

- 1999年 ● 静岡県島田市東町1408番地に株式会社大井川茶園を資本金1000万円で創立
- 2007年 ● 中長期経営計画5カ年10カ年計画を開始。スローガンは「勝」
● 茶業界として食育に関するNPO法人として初の「茶食育をすすめる会」を内閣府の承認で発足
- 2008年 ● 売上高10億円を超える決算計上
● 静岡県知事より茶業界初の経営革新計画を承認
● 「新茶郵便」を茶業界として先駆けて企画。文化振興に貢献
- 2009年 ● 静岡県焼津市上新田685番地の1に本社移転
● 同時に、業界初の同一敷地内の垂直統合型の一貫生産工場を設立
- 2010年 ● 地元のプロサッカーチーム「藤枝MYFC」のオフィシャルスポンサーとなる
- 2011年 ● 感謝の集いを東日本大震災チャリティとして本社工場にて地元住民を中心に開催
● ISO9001（2008）を6カ月で取得
- 2013年 ● 海外B2Bサイト「アリババ」に参画。海外事業の強化に取組む
- 2014年 ● 「茶工場のまかない緑茶320g」の年間出荷数が100万本を達成（導入店舗数：全国15,000店舗）
- 2016年 ● ホッカサポロフード&ビバレッジ株式会社より大井川茶園ブランド「茶工場のまかない緑茶」がPETボトル飲料として発売
● 社内就業規則の見直しにより、パートタイマー社員の70歳定年制および育児介護休業などの規定を導入
- 2018年 ● 第2ロジスティックセンター完成
● 工場直営店「お茶の郷本店」開店
● MDルーム完成
- 2018年 ● 抹茶工場完成 FSSC 22000認証
- 2019年 ● 「マンガでわかるSDGs」をPHPエディタースより発行

同社の活動をモデルにした「マンガでわかるSDGs」発行元：PHPエディタース



「今後の展望について」
雪嶋 急速に変化する激動の時代で悠長なことを言ってしまうのは競争に負けてしまいます。競合相手に圧倒的な差をつけるには、急流の岩をひっくり返し、川底をえぐるようなダイナミズムでイノベーションを起こすという強い意思と、ハイスピード経営を推進する必要があると、23年2月期までに売上高25億円と10年以内に売上高5億円を達成することを目指しています。

展望

「今後の展望について」
雪嶋 急速に変化する激動の時代で悠長なことを言ってしまうのは競争に負けてしまいます。競合相手に圧倒的な差をつけるには、急流の岩をひっくり返し、川底をえぐるようなダイナミズムでイノベーションを起こすという強い意思と、ハイスピード経営を推進する必要があると、23年2月期までに売上高25億円と10年以内に売上高5億円を達成することを目指しています。

現状と基本方針

「まず現状と基本方針について」
雪嶋 国内市場は、リーフ茶需要の減少から簡便性商品に販売軸をシフトする傾向にあります。しかし当社は

「茶文化の伝統を守る茶農家をサポートする」を理念に、リーフ茶販売に軸を置き拡大を続けてきました。それは、今後不変の方針であり、王道のリーフ茶販

「茶文化の最近線」
雪嶋 国内市場におけるリーフ茶需要の喚起。そのため、当社が誇る正確なマーケティング力と業態特性に合わせたマーケティングで、食品スーパーやドラッグストア

想像力と挑戦に満ちた組織「セレンディビティ」がキーワード



大井川茶園 代表取締役会長兼社長 雪嶋 直通氏

ゆきしま・なのおみち 1958年生まれ、静岡県藤枝市出身。82年ダイエー入社、商品本部・バイヤーを経験し海外商品開発会社であるエマックに出向。96年マキヤに商品本部長兼営業本部長として入社、エススポット設立に貢献。99年に株式会社大井川茶園を創業。

今年10月で創業20周年を迎える茶メーカーの大井川茶園。同社は1999年に現会長兼社長の雪嶋直通氏が創業。驚異的な速度で事業を拡大し瞬く間に業界注目の存在に成長した。一方で「SDGs」を通じた豊かで活力ある未来を創造する会社を目指す」をテーマに、地域との共生に向け積極的に取り組むことも知られ、その認知度は講演依頼が入るほど。さらに今年9月には、同社をモデルにした「マンガでわかるSDGs」(PHPエディタース・グループ)が出版されるなど、まさに静岡におけるSDGsの顔と言っても過言ではない。いつ訪れても笑顔と活気に満ち溢れた社内雰囲気から組織の強固さを感じる同社の現状と今後について、雪嶋会長に話を聞いた。

(立川大介)

主力商品



左から「大井川茶園 癒しの禅」シリーズ・「茶工場のまかない」シリーズ・「大井川茶園 静岡抹茶」

「主力商品について」
雪嶋 中核商品は、年間150万袋以上の販売数を誇る「茶工場」のまかないシリーズ。07年に発売以降、今年お年2桁伸長を続けている。リーフ茶市場初のNB商品とも言える大人気商品です。さらに18年には、世界基準を意識した新たなシリアル商品「大井川茶園 癒しの禅」シリーズ



従来の乾燥機に比べ水質を損なわずに火入れできる「マイクロ波遠赤外線乾燥火入れ機」

生産設備

「生産設備について」
雪嶋 強みは、製茶から出荷までの工程を一括管理する業界初の「バーチカルインテグレーション工場」を有することです。昨年4月に稼働した「第2ロジスティクスセンター」と合わせることで、面積は2102㎡で、プラットフォームの長さ同業他社で最長クラスの30m超。1日あたりの生産能力は、荒茶が一茶期7000kg、二茶期9000kg、仕上げ茶が日産6000kgです。

また同敷地内には、食品の安全に関する国際規格「FSSC22000」を取得した抹茶工場の併設。こちらは延べ床面積33㎡で、年10tの生産が可能です。原料には、県内産の茶葉を使用した碾茶を用い、ビーズミルと呼ぶ粉砕機や右臼で加工します。現在は、当社比2倍の抹茶を使用した「大井川茶園 癒しの禅 濃厚抹茶入り煎茶」を生産しています。

SDGsを重視 活動の輪を広げる

地域との共生

「地域との共生について」
雪嶋 当社が重視するSDGsとは、分野別に17の目標と169項目の達成基準からなる国際共通目標

「Sustainable Development Goals」の略称。15年9月の国連サミットにて採択され、国連加盟193カ国が16、30年の15年間で持続可能な開発目標（SDGs）を達成

「地域との共生について」
雪嶋 当社が重視するSDGsとは、分野別に17の目標と169項目の達成基準からなる国際共通目標

「地域との共生について」
雪嶋 当社が重視するSDGsとは、分野別に17の目標と169項目の達成基準からなる国際共通目標